

本物の資料で往時を体感！

期間中、県内では歴史に興味がある人も、ない人も楽しめるさまざまな催しを開催。貴重な資料の展示も行われるので、この機会をお見逃しなく。

福井市立郷土歴史博物館 特別展

「江戸・京・大坂と城下町福井」

3月24日(土)～5月6日(日)

江戸時代、親藩である福井藩松平家の拠点都市であった「福井」は、全国有数の城下町として発展。福井城下を出発して、「三都」と称される巨大都市、江戸・京・大坂を、展示資料を通して巡ることで、江戸時代の都市の魅力に迫る。

- ・江戸一目図屏風(津山郷土博物館蔵) **B** 江戸後期の江戸を鳥瞰した屏風
- ・浅草寺境内図屏風(越後文庫蔵) 江戸後期の浅草寺を描いた屏風



大集合! 幕末福井の偉人たち

7月20日(金)～8月26日(日)

幕末維新期に活躍した福井の偉人10人を取り上げ、その経歴やエピソードを分かりやすく紹介。また、大河ドラマ「西郷どん」の放映にあわせ、館が所蔵する西郷隆盛や勝海舟の資料も展示。



- ・波頭鯉時絵硯箱 **C**
(福井市春嶽公記念文庫蔵)
松平春嶽が橋本左内へ小判を忍ばせて下賜した硯箱
- ・西郷隆盛筆「世上毀誉軽以塵～」の書幅
(福井市春嶽公記念文庫蔵)
西郷が遠島時代のことを回顧して詠んだ漢詩

ふくいしりつきょうどれきはくぶつかん
福井市立郷土歴史博物館
☎0776-21-0489 **MAP P30B3**
📍福井市宝永3-12-1 🕒9～19時(11月7日～2月末日は～17時) 📅不定休(展示替え等)
🎫30台 🚗JR福井駅から徒歩15分 🎫入館210円(特別展は別料金)

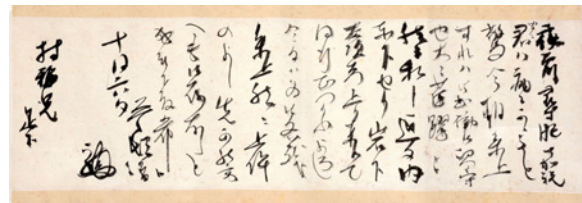
福井県立歴史博物館 特別展

幕末維新の激動と福井

9月22日(土)～11月4日(日)

幕末から維新にかけて激動する政局のなか、福井藩をはじめとする福井の諸藩がいかなる人材を輩出し、どのように行動し、維新や日本の近代化にどのような影響を与えたのかを有名かつ堅実な資料等によって紹介する。

- ・坂本龍馬書状(個人蔵) **A** 福井藩士に宛てた、龍馬の花押がある唯一の書状
- ・横井小楠書状「国是十二条」(福井県立歴史博物館蔵)
- ・由利公正筆「議事之体大意」(福井県立図書館蔵)「五箇条の御誓文」の草案の一つ



ふくいけんりつれきはくぶつかん
福井県立歴史博物館
☎0776-22-4675 **MAP P30B3**
📍福井市大宮2-19-15 🕒9～17時(入館は～16時30分) 📅第2・4水曜 🎫60台
🚗JR福井駅から車で10分 🎫入館100円

皇室と越前松平家の名宝

一明治美術のきらめき一

9月22日(土)～11月4日(日)

越前松平家に伝来した皇室からの拝領品と、万国博覧会へ出品された帝室技芸員による美術工芸品を展示。新たな時代に世界へ向けて形作られた日本美術作品と、皇室と越前松平家の深いつながりを紹介する。

- ・ボンボニエール **D**
(福井市春嶽公記念文庫蔵)
皇室や宮家の慶事の際に配られた小さな銀製のお菓子入れ
- ・鹿鳴館時代のドレス
(京都服飾文化研究財団蔵)
鹿鳴館時代の社交界で実際に着用された寺島伯爵家伝来のドレス



国の重要文化財「日本一複雑な屋根」をもつ紙祖神 岡太神社・大瀧神社

坂本龍馬は由利公正が新政府の財政を担うことを望んでいた。龍馬の死後、由利は新政府へ参加し、日本初の全国通用紙幣「太政官札」を発行。最高の品質を誇る越前和紙が使われた。その後洋紙へ変更されたが、**現在のお札にも越前和紙の技法「黒すかし」が使われている。**なお岡太神社に祀られている紙の神「川上御前」は印刷局抄紙部に分祀されている。和紙の里は1500年の歴史を持ち、**2018年5月に1300年大祭が開催される。** ☎0778-42-1151 **MAP P32C3**

※タイトル周りの古写真、古絵図、肖像写真・画(松平春嶽、橋本左内、由利公正)、**C**、**D**は、福井市立郷土歴史博物館所蔵。



ようこうかんでいえん

養浩館庭園 福井藩主松平家の別邸

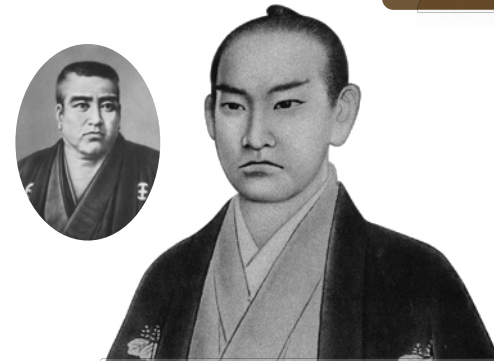
下級武士だった由利公正を登用するなど、積極的に藩政改革を行った福井藩主、松平春嶽。藩主松平家の別邸を復元した養浩館は、美しい回遊式林泉庭園や数寄屋造建築が見どころ。

☎0776-21-0489

(福井市立郷土歴史博物館)

MAP P30B3

📍福井市宝永3-11 🕒9～19時(入園は～18時30分)、11/6～2月末日は9～17時(入園は～16時30分)
🕒12/28～1/4 🎫20台
🚗JR福井駅から徒歩12分 🎫入園210円



西郷どんが認めた男

はしもとさない

橋本左内 1834～1859

福井藩士。15歳にして自身の志を「啓発録」として記す。日本の安全保障を論じた先覚者で、春嶽の側近として活躍。西郷隆盛は「同輩においては橋本左内に敵わない」と評した。



ゆりきみまさひろば

由利公正広場

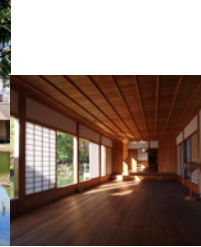
福井藩財政復興の立役者

藩の財政を立て直し、坂本龍馬に「明治政府において必要な人物」と推薦された由利公正。その活躍や偉人たちとのつながりをパネルで紹介している。近くには居宅跡を示す石碑もある。

☎0776-20-5346 (福井市おもてなし観光推進課)

MAP P30B3

📍福井市毛矢1 🚗JR福井駅から徒歩10分



四賢侯の一人

まつだいらしゅんがく

松平春嶽 1828～1890

福井藩16代藩主。人材を抜擢し、藩政、幕政の改革に取り組む。「幕末の四賢侯」に数えられ、早くから開国や議会政治を唱えた開明的な名君。「明治」という年号は春嶽が提案した。



さないこうえん

左内公園

橋本左内とその両親の墓がある。左内の銅像は、昭和38年(1963)に建立されたもの。

☎0776-20-5346 (福井市おもてなし観光推進課)

MAP P30B3

📍福井市左内町 🚗JR福井駅から徒歩10分



龍馬が認めた男

ゆりきみまさ

由利公正 1829～1909

福井藩士。藩の財政再建を実現し、坂本龍馬の推挙により新政府に出仕した。五箇条の御誓文の原案を起草したほか、日本最初の全国通用紙幣「太政官札」を発行。その後、東京府知事等を歴任した。

幕末明治期の福井県は、新しい時代を切り開いた人物を多く輩出。日本の近代化に重要な役割を果たした。彼らの足跡をたどってみよう。

ニッポンの夜明けは福井から

2018年
3月開幕!

問い合わせ

☎0776-20-0580

(福井県観光営業部文化振興課)

幕末 明治 福井 150 年博